



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年1月31日

上場会社名 ダイハツディーゼル株式会社  
 コード番号 6023 URL <http://www.dhtd.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 堀田 佳伸  
 (氏名) 水科 隆志  
 TEL 06-6454-2331

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	37,357	2.9	1,389	971.0	1,707	883.7	1,344	
2021年3月期第3四半期	38,470	6.8	129	77.1	173	78.3	157	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,446百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 24百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	42.35	
2021年3月期第3四半期	4.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	84,860	42,184	49.7
2021年3月期	80,381	41,214	51.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 42,137百万円 2021年3月期 41,166百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		15.00	15.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	1.3	1,500	50.9	1,800	56.6	1,500	110.7	47.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	31,850,000 株	2021年3月期	31,850,000 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	93,335 株	2021年3月期	90,935 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	31,732,860 株	2021年3月期3Q	31,734,651 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）における我が国経済は、ワクチン接種の普及等により2021年9月頃から新型コロナウイルス感染者数の減少が続き、段階的な経済活動再開による持ち直しの動きが見られたものの、原油価格高騰や半導体の供給不足等の影響により、やや足踏み状態が続いております。世界経済におきましても、感染症対策と経済活動制限緩和との両立により先進国を中心に回復基調にありますが、物価上昇の顕在化や中国経済の鈍化観測が高まり、また、高い感染力を持つ変異株の感染拡大が報告される等、依然として予断を許さない状況と認識しております。

当社の主要な販売先である造船・海運業界につきましては、コンテナ船やばら積み船を中心とした旺盛な輸送需要を背景に市況の改善が続き、新造船の発注も堅調に推移いたしました。

このような企業環境下、当社グループでは生産性向上、原価低減、品質向上の取組を推進し、また、市場動向やお客様のニーズを先取りした新技術開発等、競争力強化に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は37,357百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、利益面におきましては、営業利益1,389百万円（前年同四半期比971.0%増）、経常利益は1,707百万円（前年同四半期比883.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,344百万円（前年同四半期は157百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社および連結グループのセグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <内燃機関部門>

##### イ) 舶用機関関連

メンテナンス関連の売上が増加したものの、機関売上が防衛省向けを中心に減少したこと等により、売上高は30,565百万円（前年同四半期比4.9%減）、セグメント利益は2,640百万円（前年同四半期比15.5%増）となりました。

##### ロ) 陸用機関関連

機関売上が増加したことに加え、メンテナンス関連の売上が増加したこと等により、売上高は4,019百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益は32百万円（前年同四半期は804百万円のセグメント損失）となりました。

従いまして、当部門の売上高は34,585百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント利益は2,672百万円（前年同四半期比80.4%増）となりました。

#### <その他の部門>

##### イ) 産業機器関連

アルミホイール部門に関しましては、売上構成の変化により売上高、セグメント利益とも増加となりました。

##### ロ) 不動産賃貸関連

不動産賃貸関連に関しましては、売上高は微減となり、セグメント利益は減少となりました。

##### ハ) 売電関連

売電関連に関しましては、売上高は微減となり、セグメント利益は減少となりました。

##### ニ) 精密部品関連

精密部品関連に関しましては、売上高、セグメント利益とも増加となりました。

従いまして、当部門の売上高は2,772百万円（前年同四半期比9.4%増）となり、セグメント利益は369百万円（前年同四半期比26.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部では、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が、5,950百万円増加し、26,278百万円となりました。また、棚卸資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5,027百万円増加となりました。一方で、受取手形、売掛金及び契約資産につきましては、前連結会計年度末の売上債権の回収が進み、5,893百万円減少となりました。その結果、資産の部合計が、4,478百万円増加し、84,860百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金と電子記録債務の合計が前連結会計年度末に比べ、2,077百万円増加となりました。また、短期借入金と長期借入金の合計につきましては、2,751百万円を約定返済しましたが、運転資金調達を目的とした3,580百万円を借入したことにより、828百万円増加となりました。その結果、負債の部合計が、3,508百万円増加し、42,675百万円となりました。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ、配当金の支払476百万円を行いました。親会社株主に帰属する四半期純利益を1,344百万円計上したため利益剰余金が、867百万円増加となりました。その結果、純資産の部合計が、970百万円増加し、42,184百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年10月22日に公表いたしました内容から変更はございません。

なお、本資料は発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の金額は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,327	26,278
受取手形及び売掛金	17,970	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	12,076
棚卸資産	10,725	15,752
その他	1,639	1,988
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	50,651	56,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,646	9,207
機械装置及び運搬具（純額）	5,914	5,878
土地	5,084	5,084
建設仮勘定	387	343
その他（純額）	891	793
有形固定資産合計	21,925	21,308
無形固定資産	942	696
投資その他の資産		
投資有価証券	2,669	2,656
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	3,677	3,648
その他	570	517
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	6,862	6,767
固定資産合計	29,730	28,772
資産合計	80,381	84,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,373	6,551
電子記録債務	4,172	5,072
短期借入金	6,545	4,687
リース債務	441	358
未払法人税等	473	194
賞与引当金	625	212
役員賞与引当金	6	38
未払費用	3,271	3,266
その他	1,193	2,401
流動負債合計	22,103	22,781

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	6,711	9,398
リース債務	482	332
役員退職慰労引当金	66	31
退職給付に係る負債	7,225	7,503
資産除去債務	193	194
その他	2,384	2,433
固定負債合計	17,063	19,893
<b>負債合計</b>	<b>39,167</b>	<b>42,675</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,434	2,434
資本剰余金	2,171	2,173
利益剰余金	36,901	37,769
自己株式	△42	△43
株主資本合計	41,465	42,333
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	247	261
為替換算調整勘定	△36	39
退職給付に係る調整累計額	△509	△497
その他の包括利益累計額合計	△298	△196
非支配株主持分	47	47
<b>純資産合計</b>	<b>41,214</b>	<b>42,184</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>80,381</b>	<b>84,860</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	38,470	37,357
売上原価	31,428	29,072
売上総利益	7,042	8,285
販売費及び一般管理費		
販売費	5,267	5,242
一般管理費	1,644	1,652
販売費及び一般管理費合計	6,912	6,895
営業利益	129	1,389
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	27	37
持分法による投資利益	1	20
為替差益	—	11
業務受託料	22	198
貸倒引当金戻入額	4	2
雑収入	112	115
営業外収益合計	176	391
営業外費用		
支払利息	69	64
為替差損	46	—
雑損失	16	8
営業外費用合計	132	73
経常利益	173	1,707
特別利益		
固定資産売却益	1	1
補助金収入	—	152
特別利益合計	1	153
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	12	4
投資有価証券評価損	7	—
特別損失合計	20	4
税金等調整前四半期純利益	154	1,857
法人税、住民税及び事業税	469	498
法人税等調整額	△154	14
法人税等合計	314	512
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160	1,344
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△157	1,344

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△160	1,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	13
為替換算調整勘定	3	36
退職給付に係る調整額	83	12
持分法適用会社に対する持分相当額	22	39
その他の包括利益合計	136	101
四半期包括利益	△24	1,446
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△20	1,445
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,133	3,802	35,936	2,534	38,470	—	38,470
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	32,133	3,802	35,936	2,534	38,470	—	38,470
セグメント利益又 は損失(△)	2,286	△804	1,481	292	1,774	△1,644	129

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)①	合計	調整額 (注)②	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)③
	船用機関 関連	陸用機関 関連	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	30,565	4,019	34,585	2,772	37,357	—	37,357
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	30,565	4,019	34,585	2,772	37,357	—	37,357
セグメント利益	2,640	32	2,672	369	3,042	△1,652	1,389

(注)①「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業機器関連事業、不動産賃貸関連事業、売電関連事業及び精密部品関連事業を含んでおります。

②セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### 3. 補足情報

#### (1) 生産、受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）

##### 1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数 量	金 額	前年同四半期増減率	
				%
内燃機関部門	馬力			
船用機関関連	738,973	30,565		△4.9
陸用機関関連	19,102	4,019		5.7
その他の部門	—	2,300		11.6
合 計		36,886		△2.9

(注) ①金額は、販売価格によっております。

②上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高			受注残高		
	数 量	金 額	前年同四半期増減率	数 量	金 額	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	馬力		%
船用機関関連	810,653	34,383 (19,732)	13.2	1,751,005	39,022 (21,317)	53.4
陸用機関関連	36,613	5,599 (315)	△9.2	115,036	8,809 (313)	17.0
その他の部門	—	2,407 (—)	16.6	—	551 (—)	△20.2
合 計		42,390 (20,048)	9.8		48,384 (21,630)	43.8

(注) ①金額は、販売価格によっております。

② ( ) 内は輸出受注高、輸出受注残高を示し、内数であります。

③上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

##### 3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	数量	金額	輸出比率	前年同四半期増減率
内燃機関部門	馬力		%	%
船用機関関連	738,973	30,565 (17,878)	58.5	△4.9
陸用機関関連	19,102	4,019 (315)	7.8	5.7
その他の部門	—	2,772 (—)	—	9.4
合 計		37,357 (18,194)	48.7	△2.9

(注) ① ( ) 内は輸出高を示し、内数であります。

②主要な輸出地域及び割合は次のとおりであります。

アジア (68.4%)、欧州 (19.7%)、中南米 (7.0%)、北米 (2.9%)、その他 (2.0%)

③「その他の部門」には精密部品関連 (1,075百万円)、産業機器関連 (1,225百万円) および不動産賃貸関連等 (471百万円) を含んでおります。

④上記の金額には、消費税等は含まれておりません。